



校長 落合浩一

【「4期生卒業（課題）研究完成！！」～かながわ次世代教養6年間の総まとめ～】

本校では、「幅広い教養と次世代を担う人材に必要な資質・能力の育成」を目指し、表現コミュニケーション力、科学・論理的思考力、社会生活実践力の3つの力を6年間かけて育成してきた。その中核として位置付けている学習が、「かながわ次世代教養」である。

振り返ってみると、前期課程では、適切に情報を活用しながら未知の事態や新しい状況に的確に対応していく能力を育てるため、IT活用、英語コミュニケーション、伝統・文化歴史、地球環境の4分野を中心に学習してきた。後期課程では、4分野の知識を基礎に各自が興味・関心、課題・問題意識を持った事柄を膨らませ、そして焦点化して研究テーマを設定し、3年間の長い年月をかけて研究を深めてきた。

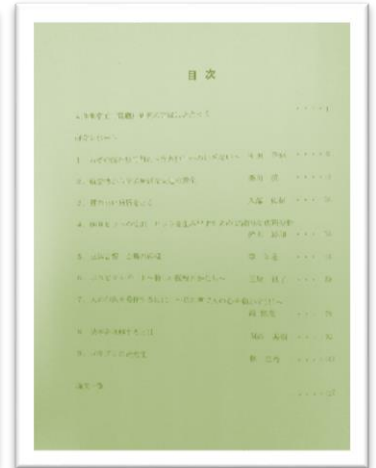
幅広い教養は身に付いたであろうか。次世代を担う人材に必要な資質・能力は育ったであろうか。言い換えれば、3つの力は育ったのだろうか。

仮説検証で示すと、「前期課程で学習した内容を基礎に後期課程で課題研究を行うことで、表現コミュニケーション力、科学・論理的思考力、社会生活実践力が育成されるであろう。よって、幅広い教養が身に付き、次世代を担う人材に必要な資質・能力の育成が図られるであろう」となる。

これまで1期生、2期生、3期生と課題研究に取り組み、その成果を残してきた。4期生も、文献研究、先行研究、実験等に基づき研究をまとめていることを考えると各々が研究を深めたことであろう。今回、明らかになった課題については、次なる研究者の5期生以降が引き継ぎ、新たな課題・問題点を浮き彫りにして、先行研究を土台に研究を深化させて欲しい。「かながわ次世代教養」は、本校の生徒を大きく成長さ

せる教育プログラムであり、社会が求めている人材育成につながる学習として発展していくものと確信している。また、4期生については、研究テーマを設定した発想性や着眼点、課題・問題意識を大切にして、様々な事柄に対して「どうしてなんだろう。どうすればいいんだろう。」「こうすればいいのかな。考えてみよう！試してみよう！」といった好奇心溢れる研究心旺盛な気持ちをもって次なるステージに進んで欲しい。その先には、社会の変化を見極め、流されることなく様々な課題に柔軟に、且つたくましく生きていける道が開けてくるはずだ。今後の4期生の活躍を楽しみにしながらさらなる成長を期待したい。

最後に、これまで4期生の研究にご尽力いただいた関係機関の皆様、先生方に感謝申し上げます。（「課題研究」2017 神奈川県立平塚中等教育学校校長挨拶文より）



【作文コンテスト入賞おめでとう！】

第67回社会を明るくする運動作文コンテスト（平塚市社会を明るくする運動推進委員会主催）において、1年生の廻 彩夏さんの作品「親切心が『善行』になる世の中に」が横浜保護観察所長賞を受賞。また、同じく1年生の新倉 央さんの「『協力』と『関わり』」、守屋 叶也さんの「ぼくの見守隊」がそれぞれ佳作を受賞しました。おめでとうございます。